演題名

　英文名

氏名

英文氏名

所属先

英文所属

本文

※ページを跨いで作成をしないでください。

|  |
| --- |
| **新型コロナウイルス後遺症に対する嗅覚刺激の有用性**Usefulness of olfactory stimulation for the sequelae of COVID-19 |
| **喜納 香１） 椎名 健２） 山田 康3)** Kaori Kino, Ken Shina, Yasushi Yamada. |
| １）丹生大学医学部解剖学教室　２）椎名病院耳鼻咽喉科 ３）健康大学プロダクト研究科1) Department of Anatomy, Niu University School of Medicine 2) Department of Otorhinolaryngology, Shiina Hospital 3) Department of Product Research, Healthcare University |
| 【はじめに】加齢に伴い感覚器の能力は衰えることはよく知られている。中でも嗅覚は加齢に伴い顕著に障害されると考えられており、脳神経疾患のリスクファクターであることも知られている。本邦においてもいくつかの研究が知られているが、その報告数は乏しく症例数も十分とは言えない・・・・・・・・・・【方法】本研究の対象者として、XXX例がエントリーされ、データの欠損値を有する〇〇例を除外した××例(AA±BB歳)のデータを元に解析を行った。データを得るにあたり株式会社・・・・・【結果】総点およびその下位尺度すべてと年齢が有意な相関を示した。（p<0.0001）また総点および下位尺度のうち植物臭、香料臭、スパイス臭と性別が有意な相関を示し(p<0.01)、すべてのスコアは相互に相関していた。(p<0.0001)加えて・・・・・【考察】今回の調査の結果から、加齢にともなって広い範囲の匂いに対する嗅覚が、比例的に減少することが確認された。また、先行研究でも嗅覚には男女差があることが指摘されていたが、今回の調査から男女差がある香りとそうでない香りがあることが新たに示された。また・・・・・【結論】以上より、新型コロナウイルス後遺症に対して嗅覚刺激が有効であり・・・ |